



南山小学校 学校だより

2月号

平成30年2月1日
港区立南山小学校
校長 明田川輝美

豊かな学びを創り出す子どもの育成をめざして

校長 明田川 輝美

1月22日の下校時、降りしきる雪が、みるみるうちに地面を白く染めていき、突然舞い降りてきた空からの贈り物に、子どもたちの大きな歓声が上がりました。そして、翌朝、子どもたちは真っ白な柔らかい雪のベッドに寝そべったり、雪合戦をしたり、雪の感触を肌で感じながら思いっきり雪遊びを楽しんでいました。全ての子どもたちを笑顔に変える魔法の力をもっている自然の営みは偉大です。

2月3日は節分、4日は立春と暦の上では春を迎えます。日本の四季の移ろいを感じることでできる子どもたちであってほしいと思います。



さて、本校は、平成28・29年度港区教育委員会研究パイロット校・園として、南山幼稚園とともに2年間研究に取り組み、その成果を2月9日(金)に研究発表いたします。

本校は、幼小連携カリキュラムを策定し、幼児が安心して小学校生活をスタートできるよう円滑な接続を目指してきました。また、様々な場面で主体的に考えたり、同学年だけでなく、異年齢の子どもたちとも積極的にかかわったりすることを通して、体験したことを次の学びに生かそうとする子どもの育成を目指しています。

2学期に行った研究授業(保育)では、幼児に読み聞かせをする際、より分かりやすく伝えられるように、読み方や声の大きさ、声色を工夫して取り組んでいる5年生の姿が見られました。また、幼児に紙飛行機の作り方や飛ばし方を教えることで、1年生が自分なりに考えたり、繰り返し試したりする場面も見られました。幼稚園・小学校教員が相互理解に努め、子どもが自ら考え、人とかかわり、豊かな学びを創り出せるよう、教育活動を工夫して取り組んでいます。

本校が考える「豊かな学び」とは、一つ一つの学び(体験)が重なって関連性を持ち、新たな意味や価値を生み出す学びであると考えています。本校の子どもたちは、体験を通して学んだことを、下級生に優しく教えてあげることが自然と身に付いています。教える相手に応じて、より分かりやすく伝えるために、子どもが主体的に考え、具体物を活用したり、表現方法を工夫したりすることで、教えることも豊かな学びとなっています。これからも、子ども同士がお互いに学び合えるような取り組みを工夫し、豊かな学びにつなげられるよう教職員一同努めてまいります。



2月の行事予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3 クラブ体験
4	5 全校朝会 委員会 スクールカウンセラー	6 安全指導 図工校外学習 (1年、4年)	7 スクールカウンセラー	8	9 パイロット校 発表会	10
11 建国記念の日	12 振替休日	13 林業出前授 業 (5年)	14	15	16	17 クラブ 数学技能検定 (希望者)
18	19 全校朝会 新1年生保護 者会 スクールカウンセラー	20 集会 落書き消し (3年)	21 麻布保育園 交流(1年)	22	23	24
25	26 全校朝会 スクールカウンセラー	27 音楽集会 南山幼稚園 交流給食 (5年)	28			

※2月の避難訓練は、予告なしで行います。

2月の生活目標

「きもちのよいあいさつをしよう」

- ・話す人の顔を見てあいさつしよう。
- ・「です」「ます」まではっきり伝えよう。

席書会

国語部担当

3学期が始まって3日目の1月11日(木)、凛とした雰囲気の中、席書会が行われました。

はじめの会では、各学年の代表児童が席書会のめあてを発表しました。1・2年生は教室で硬筆に、3～6年生は体育館で毛筆に取り組みました。子供たちは、お手本の文字を確かめながら真剣に、そして一画一画丁寧に書きあげていました。

2学期は学校で、冬休みは自宅で練習した成果を、どの子も発揮していました。

書き初め展では多くの方々に作品をご覧いただきました。それぞれの作品から子供たちが取り組む表情が想像できたのではないのでしょうか。



百人一首集会

5年担任

本校では伝統文化に触れる一環として、百人一首に取り組んでいます。楽しみにしていた百人一首集会では、縦割り班に分かれて、体育館で4人1組で対戦をしました。他学年と楽しみながらも真剣に取り組む姿がたくさん見られました。どの学年も学校や家で百人一首に取り組んだ成果を発揮していました。多目的室では、チャンピオンコースを設け、百人一首が得意な児童同士が対戦をしています。向かい合って真剣勝負で、かなり白熱した接戦でした。

百人一首を通して、和歌の表現の美しさに触れたり、季節を感じたりすることができました。今後も日本の伝統文化をより身近なものとして、楽しみながら学べる機会をつくっていきたいと思います。



日本の伝統文化を楽しもう。「伝統遊び集会」

特別活動部担当

南山小学校は、「平成28・29年度伝統文化推進校」として様々な体験学習を行ってきました。児童はそれらを通し、日本の文化に興味をもち、楽しんでいます。学んだことを家族や異学年の友達に伝えようとする姿も見られます。そして、日本の国の文化を尊重するだけでなく、他の国の文化にも興味をもち、尊重する態度につなげたいと思っています。

1月20日(土)には、「伝統遊び集会」を行い、昔からの伝承された遊びを通して、日本文化に親しみ、全校で楽しみました。

折り紙 おはじき 	コマ回し 	竹馬 竹ぽっくり 
けん玉 トントン相撲 	南山小かるた (伝統文化クラブが作成) 	ぶんぶんゴマ 
ゴム跳び 羽根つき メンコ 	生け花 	かぶと 紙でっぼう 

今回は、特別に6年生が各コーナーで、教えたり、運営の手伝いをしたりしました。これは、東京都が取り組んでいるオリンピック・パラリンピック教育の一つとして行いました。大会を「支える」ことにつながる体験です。それぞれの役割を、相手に応じて行う頼もしい姿が見られました。

また、六本木高校英語科のジェサ先生も来てくださいました。ジェサ先生とは2年間、伝統文化の学習と一緒に体験しました。日本文化を知るだけでなく、感想や自分の考えを、英語で発信することをねらいとしています。同じ体験をすることで、自然と交流をすることができ、よい経験になりました。

当日は保護者の皆様をはじめ、たくさんの方が参加してくださいました。伝統文化だけでなく、たくさんの方との関わりも有意義な体験となりました。ありがとうございました。